



学校だより

かけ橋

パート V

横須賀市立汐入小学校 校長室

2016. 3. 1
No. 25

元気でやりぬく子
すすんで学ぶ子
思いやりのある子

献立を考える

6年生の家庭科では、自分たちで栄養バランスや彩りを考えたメニューの作り方を勉強します。そんな学習のまとめの意味で、毎年、最後の自校献立のメニューは、6年生が考えています。今年の6年生は、自分たちで考えたメニューを毎日栄養士さんが出している「おいしいはなし」というプリントにして全校の子どもたちに発信しました。

文章を考える子、考えた文章を清書する子、イラストを入れる子、できあがった「おいしいはなし」を放送で読み上げる子というようにそれぞれの得意分野を生かして完成させました。「さすが6年生！」という感じです。

おいしい はなし 2月25日(木) NO. 172

ラーメン ぎゅうにゅう
かじきのかくに
きゅうりあさづけ ミニあげパン

～みんなが笑顔になれる栄養いっぱい献立～

今日の自校献立は、6年生が栄養士の黒田先生と一緒に勉強した『食分の献立』のまとめとして、『みんなが笑顔になれる栄養いっぱいの献立』というテーマで考えたものです。

野菜とお肉のはいたラーメンとミニ揚げパンの組み合わせは、今まで給食では出たことがありません!! どちらもみんなが大好きで、みんなが食べられて、おなかいっぱいになる献立です。

1年生～5年生のみんな、先生方、今までお世話になった汐入の職員みなさんに感謝の気持ちを入れて、卒業する6年生がおくります! 味わって食べて下さいね!!

ミニあげパン君
おいしく食べてネ!

平成 28 年度より小中一貫教育の取組が始まります

横須賀市は平成 28 年度より全市で小中一貫教育の取組を実施することとしています。23 校ある中学校区でブロックをつくり、その学区にある小学校とともに小中一貫教育を進めていきます。本校は坂本中学校ブロックとして、汐入、桜、逸見小学校とともに、5 校の小中学校で実施することとなります。



汐入小、逸見小、沢山小、桜小、坂本中の 5 校の先生が一堂に会して話し合いをしました。(於：桜小)

小中一貫教育の目的は大きく言えば、「教育の充実」ということになっていきますが、もう少し具体的に述べれば次のようなことを考えています。

たとえば学習はそれぞれの学年の積み重ねの上に成り立っていますので、小学校での学習と中学校での学習が適切かつ有効に積み重なっていくことが重要となります。身に付けなければならない力やそのための学習内容は国により定められていますが、どのような教材や学習活動により進めていくかは、そのほとんどが学校に任されています。ブロックの小中学校の教師が、異校種の学校における学習内容、教材、指導方法を共通理解し、そのうえで担当する学年の授業をつくることは子どもにとって、学習の積み重ねがしやすくなり、

学力向上につながるものです。「学力」をいかに向上させるかという課題は、**小学校と中学校が個別に取り組むのではなく、協働して行い、義務教育9年間という枠組みで、子どもの学びを考えていかなければなりません。**もちろん学力の面だけでなく、心や体の成長も同様に考えることができます。また、生活習慣や学習習慣なども。

これまで坂本中学校ブロックでは、部活動見学や生徒会による学校説明など子どもの交流活動を中心に取り組んできましたが、次年度からは義務教育9年間の子どもの学びが系統性や連続性をもってつながるよう、**小中学校の教師が協力して授業改善を進めていきます。**まずは互いの授業を見合う、合同で授業研究を行うとともに、生活指導上の課題も共有し、その解決を図れるようしてまいります。また、これまで行ってきた子どもの交流活動も継続して行っています。

とても平易な物言いですが、この取組により 5 校の教職員はおのずと顔見知りとなり仲良しになると思います。坂本中の学区の子どもをどのように育てるか、本音で話せる関係性が今まで以上に密になることが期待できます。

学力にかかわる課題だけでなく、小学校から中学校へ進学する際のギャップが一つの壁となる「中一ギャップ」と言われる課題や不登校生徒の増加など、小中一貫教育を実践することを通して改善が図られたという成果は先進地区から発信されています。校舎を一つにした小中一貫校ではありませんが、小中学校の教職員が手を取り合って坂本中の学区の子どもたちを健やかに育てていきます。



汐入小に坂本中学校の生徒が、生徒会の説明に来てくれました。